

【事例 H26-06-03】 愛知県西尾保健所

ハローワークとの協働による地域自殺対策の展開について
 =当事者のニーズ調査から失業者ピアサポートグループへ=

ハローワークとの共同による地域自殺対策の展開を行った。この中で、人材育成（生活困窮者のサポート強化を目的とした、弁護士・司法書士・社会保険労務士等の「士業職」を対象とするゲートキーパー養成研修の実施、失業中の方をメンバーとするピアサポートグループの育成・開催）、情報提供・周知（ハローワークの利用者を保健所のメンタルヘルス相談に誘導するリーフレットの作成、ハローワークを会場としたストレスマネジメント講習会の開催）を行った。

【実施主体】 愛知県西尾保健所

【大綱の分類】 6) 社会的な取り組みで自殺を防ぐ

【事業予算】 160,000 円 (H25 年度)

【利 点】

- ▼地域の実態や当事者のニーズを踏まえた支援を行うことができる。
- ▼職域から漏れ、地域からも孤立しやすい失業者に対して、ハローワークを介して支援を行うことができる。※ハローワークからは、講習会やピアサポートグループへ効果的周知方法等のアドバイスがあった。
- ▼ハローワークは直接的な就業支援のみならず、生活支援の一環として県や保健所と連携を図ることにより、求職者に対する支援の幅を広げることができる。

【実施に至るまで】

失業者を対象にする理由

- ① 管内の自殺死亡状況の分析を行った結果、生産年齢段階の男性で、とりわけ 45 歳～54 歳の中老年男性の自殺率が高かった。
- ② 失業者は中でも職域から漏れ、地域において孤立しがちな存在であり、一層の支援を必要としていることが予想された。
- ③ ハローワーク利用者にインタビューを行った結果、メンタル面での支援を求める声が強かった。

計画を立てる上での工夫

- ① インタビュー協力依頼は「メンタルヘルスマニター募集」という形で行い、参加者に「自らの声が他の人の役に立つ」という実感を持ってもらえるようにした。
- ② ピアサポートグループの立ち上げに先立って、ストレスマネジメント講習会を開催し、その受講者を核にピアサポートグループを育成した。

具体的な内容

▼自殺死亡状況の分析

- ・管内の自殺死亡状況を「地理的要因」と「性別/年齢別要因」の視点から分析
 「地理的要因」
 自動車産業中心で地域外からの流入人口や非正規労働者が多い
 →社縁・地縁・血縁から切り離され孤立しがち

「性別/年齢別要因」

- 分析時点において自殺死亡率の第一位は45～54歳男性、第二位が55～64歳男性
 ・支援対象を「働き盛りに属しながら職に就いていない人」とした

▼インタビュー調査

＜調査概要＞

目的 : 失業者が必要としている支援を明らかにする
 対象者 : ハローワーク利用者 30名
 (男性 20名、女性 10名)

※ハローワーク入口でチラシを配布し、募集した。

場所 : 西尾公共職業安定所

調査内容 :

- ① 家族状況、健康状態、失業期間などに関するフェイスシートの記入
- ② 日本語版 SDS (うつ性自己評価尺度) の記入
- ③ 調査担当員による半構造化面接

質問項目 : 家族状況、失業した時期、失業期間、転職回数、前職の会社規模、職種、雇用形態、失業前後の年収、最終学歴、住居、失業給付終了後の経済的見直し、体調について

＜調査結果＞

- ・うつ傾向 (SDS48点以上) は 14 名いた
- ※うつ傾向者には、特に何もしていない。メンタルヘルスチェックと相談窓口案内リーフレットを作成し、ハローワークに配架。
- ・そのうち 7 名が自殺念慮、未遂経験があった
- ・「経済支援、就業支援と並んでメンタル面の支援」、「同じ境遇の人と交流する場」、「生きる張り合いが得られる場」を求める声があった

▼事業の計画と実施

＜周知方法＞

※講習会 : ハローワークに案内を配架、市町広報紙掲載

※ピアサポートグループ : 個人あて通知、ハローワークに案内を配架

インタビュー調査をもとに 4 つの事業を計画した。

＜メンタルヘルス相談のリーフレット作成＞

- ・ハローワーク利用者を保健所が実施するメンタルヘルス相談へ誘導するために作成
- ※ハローワークに配架し、リーフレットにより 1～2 名相談あり。

・インタビュー調査で使用した日本語版 SDS を記載

＜ストレスマネジメント講習会の開催＞

※講習会 : 1 回 ピアサポート : 6 回

対象 : 求職活動中の人とその家族

- 内容 : ① 求職活動中の人特有の心の動き
 ② ストレスの仕組み
 ③ ストレスへの対処法

＜ピアサポートグループの育成＞

対象 :

内容 : 話し合い、ヘルスチェック

運営 :

※ストレスマネジメント講習会参加者の誘導の仕方 : 講習会の中で、ピアサポートグループについて説明。講習会終了の数か月は、ピアサポートの案内を送付した。

＜士業職対象のゲートキーパー養成研修の実施＞

対象 : 弁護士、司法書士、社会保険労務士など

内容 : 社会的困窮者のサポート強化を目的に、士業職を対象に自殺問題の基礎知識について講演。

【成 果】

- ▼ストレスマネジメント講習会は 16 名が参加。
- ▼ピアサポートグループは毎回 4 名前後が参加。グループ内では自殺念慮や自殺企図歴が語られることもあった。
- ▼ゲートキーパー養成研修には 36 名が参加。

【事業種別】 研修・セミナー実施、リーフレット作成、実態調査

- 【準備期間・人数】 12か月、3人
【予防段階】 1次予防・2次予防
【自治体規模】 人口 西尾市 16.4万人、額田郡幸田町 3.9万人
財政規模 西尾市、額田郡幸田町
【自治体負担率】 無し（H23年度は地域自殺対策緊急強化基金を使用）
【事業対象】 失業者、士業職、労働局
【支援対象】 失業者
【実施主体】 愛知県西尾保健所
【問合せ先】 愛知県健康福祉部障害福祉課こころの健康推進室 TEL：052-954-6621
E-mail：shogai@pref.aichi.lg.jp
【参考資料・文献】
（ア） 地域における自殺対策取組事例集
（イ） 国と地方自治体の連携による雇用対策好事例
（ウ） [広報こうた 2015.10.1](#)
（エ） ハローワークと協働による地域自殺対策の展開について